



産業廃棄物処理計画書

2026年 6月 30日

一宮市長 殿

提出者 岩田食品株式会社

住 所 一宮市萩原町松山566-8

氏 名 代表取締役社長

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岩田食品株式会社 本社工場
事業場の所在地	一宮市萩原町松山566-8
計画期間	令和8年3月31日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	09 食料品製造業
② 事業の規模	売上高 3812百万円
③ 従業員数	1363人 (R8.3月末時点 パート・アルバイト含む)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	原料前処理 → (皮、へた等) 動植物性残さ、(梱包用資材) 廃プラスチック類 加工工程 → (製品残さ) 動植物性残さ、(梱包用資材) 廃プラスチック類 包装工程 → (製品ロス等) 動植物性残さ、(梱包用資材) 廃プラスチック類 製造全般 → (原料入荷形態による) 金属くず、廃プラスチック類 廃水処理施設→余剰汚泥、有機汚泥 別紙1「産業廃棄物の種類別発生量と処理方法等」 別紙2「製造工程及び廃棄物の発生・処理のフローシート」参照

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物統括責任者
生産管理本部長

廃棄物処理責任者
生産管理本部主任

廃棄物実務担当
生産管理本部施設管

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2025年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラ	汚泥	
	排 出 量	1333 t	479 t	132 t	
	(これまでに実施した取組) 主要野菜の加工時点での歩留まり向上 再利用可能な原料を再利用する 数値管理による製品ロス低減				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラ	汚泥	
	排 出 量		t	t	
	(今後実施する予定の取組) 主要野菜の加工時点での歩留まり向上 再利用可能な原料を再利用する 数値管理による製品ロス低減 乾燥設備本稼働による減量実施				

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生可能品目に関する分別の実施 再生可能品目の内有価取引可能品の分別実施
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生可能品目に関する分別の実施 再生可能品目の内有価取引可能品の分別実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ※該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ※該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ※該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ※該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ※該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ※該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2025年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラ	汚泥	
	全 処 理 委 託 量	1333 t	479 t	132 t	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1333 t	479 t	132 t	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 年1回の処分業者視察 動植物製残さの一部飼料化（残りは堆肥化）				

(第5面)

② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	動植物製残さ	廃プラ	汚泥	
	全処理委託量	1333 t	479 t	132 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	1333 t	479 t	132 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 年1回の処分業者視察 →優良認定処理業者認定を目指した取り組みを依頼				
	※事務処理欄				